

設 立 趣 旨 書

これからますます進む少子高齢化の波、私たちの住むこのまちも例外ではありません。お年寄りの中には一人暮らしの方も多くおられ、近くに誰も頼る人がいない為、栄養の偏った食事を一人で食べておられるのではという心配があります。さらに加えてこの地域は高低差のある土地柄の為、買い物が困難という問題もあります。

また、子ども達を取り巻く環境においても核家族で両親が共働きという家庭が増え、放課後の居場所に迷う子どもも見受けられます。このような昨今の地域社会や家族環境の変化に起因する問題は、今後も増加の一途を辿ると考えられ、対策が急務であると思われまます。

これらの問題の解決策を考えた時に、家族ではなくても同じ地域に住む住人どうしが世代を越えて互いの存在を自然と見守り合い、気軽に相談しあえるような関係を築く為の仕組みづくりが必要であると考えました。

まず私たちは、なかなか遠くまで買い物に出ることができない高齢者の方々の一助となるべく、2018年2月より商店の少ない地域の民家のガレージにおいてパンや野菜の販売「ママ・マルシェ」を始めました。自宅近くで買い物ができると大変喜ばれ、「ママ・マルシェ」で扱っていない品物については「買い物代行」として注文が入るようになりました。ただし「ママ・マルシェ」は常設的なものではないので、地域の方に安定した利便性を提供できる場所を作る為、拠点となる場所を探し、運よく空き家を貸して下さる方が見つかりました。地域の交流拠点となるこの場所を改装し、誰でもいつでも気軽に集える居場所を作り、様々なイベントを企画することで地域の方どうしが知り合うきっかけができればと考えています。この拠点が地域の方の働く場所となり、関係する皆さんが自宅のようにくつろげる場所となり、自然な形で多世代交流が出来るようにします。

私たちは、人と人が繋がりを持つことを楽しみ・生きがいとなるように、地域に寄り添い、見守り、みんなが安心して暮らせる環境を整え、おもいやりの心を持って互助・共助の出来るまちづくりを目指します。

これまでの活動をより広げ、継続的に行っていく為に法人の設立を決意し、ここにNPO法人おもいやりカンパニーを設立いたします。

平成31年3月15日

法人の名称 NPO法人 おもいやりカンパニー
設立代表者 津ノ井 美晴